

製品名: p21 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86606**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:50-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:18 kDa; Observed MW:21 kDa

抗原情報

遺伝子名	p21
別名	P21; CIP1; SDI1; WAF1; CAP20; CDKN1; MDA-6; p21CIP1
遺伝子ID	1026
SwissProt ID	P38936
免疫原	ヒト p21 の合成ペプチド

背景

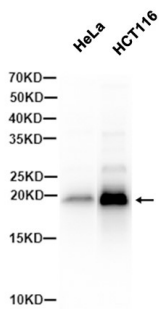
この遺伝子は強力なサイクリン依存性キナーゼ阻害因子をコードしています。コードされているタンパク質は、サイクリン-サイクリ

ン依存性キナーゼ 2 またはサイクリン-サイクリン依存性キナーゼ 4 複合体に結合してその活性を阻害し、細胞周期 G1 期の進行を調節する役割を果たします。この遺伝子の発現は腫瘍抑制タンパク質 p53 によって厳密に制御されており、p53 を介して、様々なストレス刺激に応答して p53 依存性細胞周期 G1 期停止を誘導します。このタンパク質は、DNA ポリメラーゼ補助因子である増殖細胞核抗原と相互作用し、S 期 DNA 複製および DNA 損傷修復において調節的な役割を果たします。このタンパク質は CASP3 様カスパーゼによって特異的に切断されることが報告されており、その結果、サイクリン依存性キナーゼ 2 が劇的に活性化され、カスパーゼ活性化後のアポトーシスの実行に重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子を欠損したマウスは、損傷または欠損した組織を再生する能力を有します。この遺伝子には複数の選択的スプライシング変異体が見つかった。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



p21 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HeLa、HCT116 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。